

第31期第19回常任理事会議事録

日 時：2002年3月25日（月）10時30分～11時10分

会 場：気象庁予報部会議室（気象庁4階）

出席者：廣田，二宮，勝山，木田，澤井，関口，田中
（博），新野，藤部，山岸，以上10名

その他の出席者：館（事務局）

議 事：

1. 第31期第18回常任理事会議事録の確認
2. 各委員会報告

庶務…後援名義等使用依頼受付

- (1) 名義：雷サミット—自然を活かした市民の「学び」—

- 1) 主催：雷サミット実行委員会
- 2) 期日：平成14年3月23日(土)，24日(日)
- 3) 場所：鶴岡タウンキャンパス・キャンパスセンター棟西側1F
(山形県鶴岡市馬場町14-1)
- 4) 名義：後援

- (2) 名義：第19回エアロゾル科学・技術研究検討会

- 1) 主催：日本エアロゾル学会
- 2) 期日：平成14年8月6日(火)～8日(木)
- 3) 場所：京都大学
- 4) 名義：共催

- 第32期選挙管理委員会からの報告
「日本気象学会第32期役員候補者」選挙管理委員会委員長より第32期役員候補者選挙結果について報告を受けた。

- 第39回理工学における同位元素・放射線研究発表会第2回運営委員会報告

- 科学技術費補助金に係る審査委員候補者の推薦について（依頼）

細目「地球宇宙化学」の第1段階審査委員候補者，分科「地球惑星科学」の第2段階審査委員候補者各1名の推薦依頼を受けた。推薦候補者がある場合には3月中に理事長までメールにて推薦を行う。理事長と庶務担当理事で推薦された候補者の中から該当者をあたることとした。

- 平成13年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）実績報告

3月14日に提出した。

会計…2002年2月分の収支報告

天気…Vol. 49 No. 3（2002年3月号）の掲載記事とVol. 49 No. 4（2002年4月号）掲載予定記事の報告

- 3月号には総会参加ハガキの提出のお知らせを掲載する。
- 5月号から「気象」から引き継ぐ記事を2か月遅れで掲載する。
- 気象集誌の目次については1か月遅れで組版し，pdf化する。

気象集誌…Vol. 80 No. 3の内容を報告

- 3月8日に編集委員会を開催，12編を受理した。
- J-STAGEによる電子ジャーナルの公開は4月後半からとなる予定。

気象研究ノート…201号「アンサンブル予報」を3月25日に納本予定。

- 「ニューラルネット」を書店に置きたいとの希望があるが，定価の付け方，書店取り次ぎと流通経路の確立が定まっておらず結論が出ていない。

講演企画…春季大会のプログラムをHPに掲載した。

教育と普及…夏期大学のテキストのCD-ROM化を検討中。テキストの売れ行きが芳しくなく定価を下げるためにカメラレディの原稿を講演者に用意していただくことを検討中。

国際学術交流…日中韓の学術交流について，2月下旬に中国，韓国とコンタクトをとった。

- 日本気象学会の外国籍の会員に対するサービスについて，大会の英文パンフレットを用意するなど検討を行う。

電子情報…2002年2月1～28日の気象学会ホームページのアクセス状況（43,374件）

- GPV データの公開について進展があったことが報告された。一般会員への現状報告を実施することとした。

3. 会員の新規加入などについて

新入会員17名を承認，退会12名。3月15日現在，会員数4,459名（内，通常会員3,916名）。

4. 2002年度日本気象学会賞・藤原賞, 受賞者決定投票

投票の結果, 学会賞 2 件, 3 人, 藤原賞 2 件, 2 人の候補者全てを受賞者と決定した。

「学会賞」

業績: 赤道域成層圏オゾン分布の時空間変動と力学過程についての研究

塩谷雅人 (京都大学宙空電波科学研究センター)

長谷部文雄 (茨城大学理学部地球科学科)

業績: 熱帯域の気候形成とその変動に関わる大気・海洋相互作用の研究

謝 尚平 (国際太平洋研究センター・ハワイ大学気象学教室)

「藤原賞」

業績: 台風および熱帯擾乱に関する数値実験的研究
山岬正紀 (地球フロンティア)

業績: GAME を中心とするアジアモンスーンに関する研究の推進

安成哲三 (筑波大学教授)

5. 水文水資源関連学会会長等懇談会報告

気象学会に「アジア太平洋水文水資源協会」設立の協力依頼があった。その場合学会の連絡窓口担当者を選定することと第 1 回国際会議「アジア太平洋地域の水文学および水資源管理に関する国際会議 (仮題)」の実行委員会の委員を推薦していただきたい、とのことであった。次回の常任理事会で検討する。

6. 大会開催について学会交付金の増額について (依頼)

北海道支部より 2002 年度秋季大会の学会交付金に対する増額の依頼があり, 支部で最善の努力をした結果, さらに必要な最小限の経費であれば増額を認めることとした。

本誌 49 巻 4 月号に以下の誤りがありました。

「第 31 期第 18 回常任理事会議事録」中の 297 ページ右上 13 行目の「2, 3 名」は「2 件 3 名」の誤り, また, 「2002 年度日本気象学会賞・藤原賞の各受賞者決まる」の 289 ページ左上 3 行目「茨木大学」は「茨城大学」の誤りでした。お詫びして訂正を致します。

第 31 期第 2 回評議員会議事録

日 時: 2002 年 3 月 25 日 (月) 13 時~16 時

会 場: 気象庁予報部会議室 (気象庁 4 階)

出席者 (敬称略):

(評議員) 江守正多: 国立環境研究所, 大矢正克: 福岡管区気象台予報課, 郷田治稔: 気象庁数値予報課, 三枝信子: 産業技術総合研究所, 徐 健青: 地球フロンティア, 坪田幸政: 慶應高校, 中村 尚: 東京大学大学院理学系研究科, 檜山哲哉: 名古屋大学地球水循環研究センター, 向川 均: 北大大学院地球環境科学研究科, 以上 9 名

(名誉会員) 小倉義光, 竹内清秀, 以上 2 名
(理事) 廣田, 二宮, 岩嶋, 勝山, 神沢, 木田, 近藤, 澤井, 竹村, 田中 (浩), 田中 (博), 中澤, 新野, 平木, 藤部, 藤吉, 萬納寺, 宮原, 山内, 以上 19 名

(その他の出席者) 永田 (監事), 徳野 (監事), 館 (事務局), 以上 3 名, 合計 33 名

議 事:

前回の評議員会 (2001 年 3 月) において提起された学会運営に関する諸問題について, 関連する委員会からの回答文書をもとにして, 以下のように議論を行った。

1. 天気の記事内容, 天気・集誌の電子ジャーナル化
担当理事から, 集誌は受理したらすぐに印刷するが, 時間がかかっている査読を早くしたいとの補足説明があった。冗長な論文は査読に時間がかかるので Note and Correspondence を充実してはどうかとの提案があった。
2. 春季・秋季の大会のありかた

大会の土曜開催は教師向けの特別版ではなく, 教師も最先端の発表を聞けるようにするためという考えで行って欲しいとの要望があった。

会期延長に関して次のようなコメント・要望があった。講演数が多くなっている背景には大学院重点化による院生の増加があるのではないかと、学会発